

ハードコンポーネント



(イ) シャトル小学校 2 教室新築の建築

(ロ) 上記 1 校備品整備（椅子と机計 100 個、教壇 2 つ、黒板 2 つ

1-1、事業実施前の竹の校舎



1-2、事業実施後のコンクリートの校舎



正面から見た校舎（2教室）



完成した壁面の塗装



校舎中央のロゴ



教室内プレート



生徒用の椅子（100脚）



先生用の机と椅子（各教室1組）



教室内の棚（各教室1つ）



トイレ（各教室1つ）



電気の配電盤



バリアフリーの外廊下



ジェネラルサントス空港から町の中心部に向かう際に通る幹線道路沿いに建てられた本事業の看板



シャトル小学校前の看板デザイン
※職員によるデザイン

1-3、「校舎引渡式典」の様子



子どもたちによる出し物



数百名の参列者



教育長への鍵の受け渡し



市長からのメッセージ



事務局長からのメッセージ



子どもたちのお祝いの舞



喜ぶ子どもたち

1-4 使用状況



雨風が入らない校舎で学ぶ児童



英語を教える先生



先生の話聞く児童たち



休憩時間の様子



休憩時間の様子



掃除をする児童たち



主な成果

	申請時	現在
校舎	竹校舎が 3 教室	コンクリート 7 教室
児童数	349 名	434 名
教師数	6 名	12 名
授業の中断	雨風時	ほぼなし
トイレ早退	特に女子児童	ほぼなし

※以前は竹小屋しかなかったが、本事業を契機に、地元企業や市が教室を建築する等の波及効果がでている。



(ハ) 子どものエンパワメント（能力向上）活動

地域内9つの小学校の児童会役員毎回約45名を対象に、計6回（延べ277名）の児童会の責任や先住民の文化に関する研修を実施した。また、研修内容を活かした児童会主催の啓蒙活動を9校で行い、延べ1,648名の児童が参加した。



役員 の責任と役割「概要」



役員 の責任と役割「ルール作り」



啓発活動準備

主な成果

- これまでは形式だけの児童会だった。今では自ら地域活動を企画し、実行するようになった。
- 45名の児童会役員 の自民族の理解が向上した。
- 先住民であることに劣等感を抱えていた子どもたちの、授業中の発言回数が増加し、自分の想いや夢を語るようになってきた。

(二) 教員のエンパワメント（能力向上）活動

先住民の理解を促進し、教育計画に反映させていくための研修を、地域内 9 小学校の教師約 50～65 名に計 4 回実施し、延べ 230 名が参加した。



先住民族理解促進研修①



先住民族理解促進研修②



「文化に基づく学校づくり」

主な成果

- ・ 54 名の教師の先住民への理解が向上した。
- ・ 「先住民に適した授業計画」が各校で作成され、既に実行に移されている。
- ・ 教師の中には、先住民ブライアの言葉を覚えるものもできた。

(ホ) コミュニティのエンパワメント（能力向上）活動

・ 保健教育活動：

先住民が地域の保健環境を向上させるための保健研修を計 8 回実施し、各回約 30～40 名の住民が、延べ 256 名が参加した。また、2 つの地区で約 300 名の診療活動を行った。

・ 生計向上活動：

先住民の伝統文化の再評価と生計向上を目的とした研修を計 9 回実施し、各回約 20 名、延べ 184 名の住民が参加した。



保健：公衆衛生と栄養



保健：地域巡回診療

主な成果

- ・ 約 32 名の（将来の保健ボランティア）の保健の知識が向上した。
- ・ 地域にあるハーブ薬の服用が可能になった。
- ・ 乳幼児死亡率の低下



生計：技術訓練研修②ニット B



生計：技術訓練研修③ビーズ A

主な成果

- ・ 約 24 名が新たな生計の技術を手に入れた。
- ・ 既に一部の商品は販売を開始している。
- ・ 廃れていた伝統工芸が蘇り、村人全体の自尊心の向上に貢献している。